鈴木信太郎記念館　令和8年度コーナー展示

文学と美術の共鳴

フランス文学者・鈴木信太郎と芸術をめぐる物語

La résonance entre la littérature et l’art - L‘histoire de Shintaro Suzuki et de l'art

中学校同窓会写真：鈴木信太郎（奥側右から2人目）、福島繁太郎（奥側左から2人目）、高畠達四郎（右側手前から2人目）

フランス文学者・鈴木信太郎が愛した美の世界をたどる

高畠達四郎《プチ・ジャンの肖像》
油彩・カンヴァス、1928年頃

2026年4月25日（土）－2027年4月11日（日）

開館時間｜9:00－16:30

休 館 日｜月曜日（祝日と重なる場合は翌平日）、年末年始

入 館 料｜無料

豊島区立鈴木信太郎記念館
Musée Shintaro Suzuki
〒170-0013　東京都豊島区東池袋5-52-3
TEL：03-5950-1737

鈴木信太郎記念館 公式HP

郷土資料館 公式X

郷土資料館 公式Instagram

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

文学と美術の共鳴

フランス文学者・鈴木信太郎と芸術をめぐる物語

La résonance entre la littérature et l'art - L'histoire de Shintaro Suzuki et de l'art

入館 **無料**

フランス文学者・鈴木信太郎（1895-1970）は、美術愛好家でもありました。洋画家・高畠達四郎（1895-1976）とは幼稚園時代からの幼馴染で、信太郎が1925-26年にパリに私費留学した際には、パリに留学中だった高畠と共に美術館や画廊を巡り、美術に対する審美眼を養いました。

芸術家は、既存の作品を模倣するのではなく、独創性や個性を重んじるべきだと考えていた信太郎は、日本の新時代の美術を目指して1930年に創設された独立美術協会の画家達を高く評価し、須田国太郎（1891-1961）、川口軌外（1892-1966）等と交友関係を築きます。これらの画家は信太郎に自身の作品を贈っただけでなく、信太郎が出版する書籍の装幀を手掛けるなど、信太郎のフランス文学者としての業績にも関与しました。

また、信太郎は、国内でも数多くの展覧会に足を運び、展覧会の目録や図録を保管していました。これらの目録や図録からは、信太郎の美術への眼差しだけでなく、日本における西洋美術の受容の歩みを垣間見ることもできます。

本企画では、当館が所蔵する資料の展示を通じて、このような信太郎と美術の関係をご紹介します。また、一部の絵画については期間限定で原画を展示いたします。

鈴木信太郎訳『ポエジイ』白水社、1934年
（限定印行部数500部）
装幀：高畠達四郎

須田国太郎《鷲図》、墨・紙、
制作年不詳

川口軌外《ステファヌ・マラルメ
『半獣神の午後』挿絵案》、
技法・制作年不詳

原画展示スケジュール

本企画の会期中、通常は複製の展示または非公開としている作品の原画を期間限定で公開します。

原画の展示期間は下記のとおりです。

- **須田国太郎《鷲図》（通常は複製を展示）：2026年4月25日（土）～5月10日（日）**
- **高畠達四郎《鈴木信太郎の肖像》（通常は非公開）：2026年7月10日（金）～7月20日（月・祝）**
- **高畠達四郎《プチ・ジャンの肖像》（通常は複製を展示）：2026年10月30日（金）～11月15日（日）**
- **川口軌外《静物》（通常は非公開）：2027年2月19日（金）～3月7日（日）**

豊島区立鈴木信太郎記念館　Musée Shintaro Suzuki

〒170-0013　東京都豊島区東池袋5-52-3

TEL：03-5950-1737

- **東京メトロ丸の内線「新大塚」駅から徒歩約3分**
- **JR山手線「大塚」駅南口から徒歩約8分**
- **都電荒川線「大塚駅前」停留所から徒歩約8分**

＊ **駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。**